

<http://kinki-sha.org/>

近畿学校保健学会通信

No.132

平成24年6月 日発行
近畿学校保健学会事務局
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1
和歌山県立医科大学医学部衛生学教室内
TEL&FAX:073-441-0646
URL:<http://kinki-sha.org/>
E-mail:kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp
振替口座 00940-5-181826

目 次

1 . 第59回近畿学校保健学会のご案内	2
2 . 学会新企画 第1回：研究計画を立てる	10
3 . 追悼文	13
4 . 第3回幹事会議事録	14
5 . 第59回日本学校保健学会開催要項	15

会費納入と会員勧誘のお願い

平成24年度の会費の納入時期となりました。

振込用紙を同封させていただきましたので、お振り込みいただけますようお願い申し上げます。

会費未納の方は2年分の額を記載してありますのでよろしくようお願い申し上げます。

また、学会員の皆様には、周囲の方々に本学会への入会をお勧め下さいますようお願い致します。

ご挨拶

第59回近畿学校保健学会

学会長 井上文夫

この度、第59回目となる伝統ある近畿学校保健学会を京都の地で開催させていただくことになりました。京都は歴史と伝統の町であり、会場の京都教育大学は南部の伏見に位置します。近隣には坂本龍馬や近藤勇などの活躍した史跡もあり、日本の歴史を動かす中心でもありました。学校保健の領域は医学面でも教育面でも大変重要な位置を占めていますが、その重要さは一般の人々には認識されていないのが現状です。今年は秋に神戸で川畑先生が日本学校保健学会を主催されます。近畿での学校保健の研究活動がさらに全国への発信となり、学校保健の重要さが改めて多くの人々に認識され、学校保健への関心と関連の活動が盛んになることを期待しております。

今回、一般演題につきましては27題のご応募をいただきました。学校保健の様々な領域のものが含まれ、興味深い内容のものが多く、活発な議論が期待できそうです。午後の部は市民公開とし、健康上「配慮の必要な子どもたち」である不登校児、アレルギー児、発達障害児をとりあげました。不登校につきましては、元不登校児による音楽とトークによりその時の気持ちを心で感じていただき、アレルギー児については小児アレルギー医療の最先端で活躍されている滋賀県立小児保健医療センターの楠先生による教育講演をお願いしております。また、発達障害児につきましては、「特別に支援を必要とする子どものメンタルヘルス～学校保健の視点から～」というテーマで、小児精神科医で発達障害の専門家である小谷先生、子どものほめ方に詳しい保健所長である弓削先生、親の会と養護教諭の立場から古川先生、特別支援教育の立場から相澤先生に、それぞれの立場からお話しいただく予定です。特別支援教育の視点が急速に普通学校の中にも広がってきましたが、それに伴い多くのメンタルヘルスの問題も明らかとなってまいりました。今後、特別支援教育は学校保健の中で重要な位置を占めるのではないかと予想しています。

学会時期の京都はあいにく梅雨時ですが、隣接する藤森神社ではあじさいの見頃を迎えます。宇治の三室戸寺のあじさいも見事です。伏見には月桂冠や黄桜など酒蔵が多く、様々な地酒を楽しむこともできます。懇親会に是非ご参加いただき、学校保健の未来を語りあってくださいますようお願いいたします。

最後になりましたが、ご後援いただきました京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府医師会、京都府歯科医師会、京都府薬剤師会、京都教育大学、京都府立医科大学小児科同門会（耐久会）ならびに学会運営にご協力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。

第59回近畿学校保健学会プログラム

9 : 30	受付開始 【受付場所：F棟ロビー】
10 : 00	<p>一般演題発表</p> <p>第1会場 【会場：F棟1階 F16】</p> <p>第2会場 【会場：F棟1階 F12】</p> <p>第3会場 【会場：F棟2階 F26】</p>
12 : 00	<p>昼食休憩</p> <p>昼食場所：周辺の食堂・喫茶店，生協弁当</p>
13 : 00	評議員会・総会 【会場：F棟2階 F26】
13 : 45	<p>特別企画 【会場：F棟2階 大講義室】</p> <p>「心の授業～元不登校児による音楽とトーク～」</p> <p>JERRYBEANS (マイペースプロジェクト)</p>
14 : 15	<p>教育講演 【会場：F棟2階 大講義室】</p> <p>「学校でアレルギー疾患とどう向き合うか？」</p> <p>講師 楠 隆(滋賀県立小児保健医療センター小児科部長・保健指導部長)</p> <p>座長 藤原 寛(京都府立医科大学小児科)</p>
15 : 15	<p>シンポジウム 【会場：F棟2階 大講義室】</p> <p>「特別支援を要する子どものメンタルヘルス～学校保健の視点から」</p> <p>シンポジスト</p> <p>1) 小谷 裕実(花園大学社会福祉学部教授)</p> <p>2) 弓削マリ子(京都府中丹東保健所所長)</p> <p>3) 古川 恵美(大阪LD親の会「おたふく会」)</p> <p>4) 相澤 雅文(京都教育大学附属特別支援教育臨床実践センター教授)</p> <p>座長 井上文夫，森 孝宏(京都教育大学)</p>
17 : 15	表彰式・閉会式 【会場：F棟2階 大講義室】
17 : 30	懇親会 【会場：大学生協食堂】

プログラム

一般演題（口演8分・討論5分） 10：00～12：00

第1会場（1階F16講義室）

発育と体型

座長：白石龍生（大阪教育大学教育学部養護教育講座）

- 1 - 1 乳幼児期（0～5歳）におけるBMIについて
中西増代（大阪産業大学）
- 1 - 2 学齢期における成熟度と体脂肪率に関する研究
千田幸美，白石龍生，三野耕（大阪教育大学）
- 1 - 3 成熟度を利用したBMIの将来予測について - 予測値と実測値との差異をめぐって -
五十嵐裕子，後和美朝³⁾，赤井クリ子，野澤章子，宮井信行²⁾，宮下和久²⁾，武田眞太郎²⁾
1) 園田学園女子大，2) 和歌山医大，3) 大阪国際大，4) 西宮市教委

生活習慣と疾患

座長：笹山 哲（京都大学医学部人間健康学科）

- 1 - 4 中学生における体型指摘の経験とやせ願望・ボディイメージ・ダイエット行動の関連
千須和直美，春木敏（大阪市立大学大学院生活科学研究科）
- 1 - 5 女子学生における正常体重肥満と生活習慣との関連
間瀬知紀¹⁾，宮脇千恵美²⁾，小原久未子²⁾，甲田勝康³⁾，藤田裕規³⁾，石川哲也²⁾，川畑徹朗²⁾，
辻本悟史²⁾，加藤佳子²⁾，中村晴信²⁾
1) 名古屋女子大学文学部児童教育学科，2) 神戸大学大学院人間環境学研究科，
3) 近畿大学医学部公衆衛生学
- 1 - 6 若年者における睡眠習慣と耐糖能およびインスリン抵抗性の関連
福田拓矢¹⁾，宮井信行²⁾，金城有紀¹⁾，堀川千尋¹⁾，福田浩之¹⁾，北口和美¹⁾，五十嵐裕子³⁾，
内海みよ子²⁾，武田眞太郎⁴⁾，宮下和久⁴⁾
1) 大阪教育大学，2) 和歌山県立医科大学保健看護学部，3) 園田学園女子大学，
4) 和歌山県立医科大学医学部衛生学教室

生活習慣と自律神経

座長：辻井啓之（奈良教育大学保健管理センター）

- 1 - 7 中学生における睡眠および心理的ストレスが起立性調節障害の関連症状に及ぼす影響
福田浩之¹⁾，宮井信行²⁾，遠藤 朝¹⁾，豊泉暁子¹⁾，福田拓矢¹⁾，内川友起子²⁾，北野景子²⁾，
内海みよ子²⁾，武田眞太郎³⁾，宮下和久³⁾
1) 大阪教育大学，2) 和歌山県立医科大学保健看護学部，
3) 和歌山県立医科大学医学部衛生学教室
- 1 - 8 咀嚼訓練が生活習慣・身体機能に及ぼす影響
榎本裕至¹⁾，浅井千恵子²⁾，井上文夫²⁾
1) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科，2) 京都教育大学
- 1 - 9 男子大学生における食後の胃運動に関連する要因の検討
松永哲郎¹⁾，足達哲也²⁾，津田謹輔³⁾，近藤高史¹⁾
1) 京都大学大学院農学研究科，2) 京都府立医科大学大学院，
3) 京都大学大学院 人間・環境学研究科

第2会場（1階F12講義室）**健康****座長：西岡伸紀（兵庫教育大学学校教育学部）**

- 2 - 1 児童生徒を対象とした健康調査の信頼性
藤原寛¹⁾，井上文夫²⁾
1) 京都府立医科大学小児科，2) 京都教育大学
- 2 - 2 短期大学生を対象にした健康に関するNIE ARCS評価分析を通して
古角好美（大阪女子短期大学）
- 2 - 3 放射線の影響に関する中学生の意識調査
小池理平，青木志保，香田由美，松本容史子，鬼頭英明，西岡伸紀（兵庫教育大学大学院）

傷害**座長：森岡郁晴（和歌山県立医科大学保健看護学部）**

- 2 - 4 学校管理下における傷害に関する事例の活用 - 養護教諭対象の質問紙調査結果より -
松本容史子，青木志保，香田由美，小池理平，鬼頭英明，西岡伸紀（兵庫教育大学大学院）
- 2 - 5 大学生における傷害発生の現状と初期対応について
笠次良爾（奈良教育大学）
- 2 - 6 青年期における左利きと怪我の危険性との関係
萱村俊哉（武庫川女子大学）

薬物**座長：中川雅生（滋賀医科大学医学部）**

- 2 - 7 青少年の医薬品使用行動の関連要因に関する文献研究
堺千紘，宋昇勲，菱田一哉，李美錦，川畑徹朗，中村晴信，辻本悟史
（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）
- 2 - 8 生涯の生き方に結びつく“薬物乱用防止教室”の試み
北村翰男（奈良市学校薬剤師会長）
- 2 - 9 教員を目指す学生による禁煙啓発活動の効果の検討
楠本久美子¹⁾，八木成和¹⁾，大川尚子²⁾，井澤昌子³⁾
1) 四天王寺大学，2) 関西福祉科学大学，3) 名古屋学芸大学

第3会場（2階F26講義室）**メンタルヘルス****座長：森 孝宏（京都教育大学保健管理センター）**

- 3 - 1 小学校教員の運動部活動経験によるストレス対処能力
山内雄貴，浅井千恵子，井上文夫（京都教育大学大学院教科教育研究科）
- 3 - 2 高校部活動におけるストレスとコーピング採用、ストレス反応との関連
村上悠，井上文夫（京都教育大学大学院教科教育研究科）
- 3 - 3 小学校および中学校教職員の不登校予防に関する意識調査
三上眞美¹⁾，古川恵美²⁾
1) 大阪市立平野南小学校，2) 畿央大学
- 3 - 4 いじめ被害の影響を低減する保護要因に関する文献研究
- 深刻化して行くプロセスにおいて果たす役割の違いに焦点を当てて -
菱田一哉，宋昇勲，李美錦，堺千紘，今出友紀子，川畑徹朗，辻本悟史，中村晴信
（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）

性行動**座長：中村春信（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）**

3 - 5 性格因子が性意識・性行動に及ぼす影響

中村健太郎¹⁾，浅井千恵子²⁾，井上文夫²⁾

1) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科，2) 京都教育大学

3 - 6 中学生の性行動と心理社会的変数との関連

李美錦，菱田一哉，堺千紘，宋昇勲，陳曦，川畑徹朗，中村晴信，辻本悟史

（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）

学校保健活動・生徒指導**座長：大川尚子（関西福祉科学大学）**

3 - 7 兵庫県におけるスクールヘルスリーダー事業の取り組み

中村晴信¹⁾²⁾，小原久未子²⁾，甲田勝康³⁾，藤田裕規³⁾，間瀬知紀²⁾⁴⁾，宮脇千恵美²⁾，川畑徹朗²⁾，辻本悟史²⁾，加藤佳子²⁾，石川哲也²⁾

1) 兵庫県教育委員会，2) 神戸大学大学院人間発達環境学研究科，

3) 近畿大学医学部公衆衛生学，4) 名古屋女子大学

3 - 8 学校全体で行う基本的生活習慣指導の推進の方策

- 小・中教員を対象としたグループインタビューの結果から -

青木志保，香田由美，小池理平，松本容史子，鬼頭英明，西岡伸紀（兵庫教育大学大学院）

3 - 9 生徒指導の在り方と保健室経営の関連性

野口法子（関西福祉科学大学健康福祉学部健康科学科）

午後の部：市民公開「配慮の必要な子どもたち」**特別企画 13：45～14：15 会場：F棟2階 大講義室****紹介：井上文夫（京都教育大学）**

「心の授業～元不登校児による音楽とトーク～」

・JERRYBEANS（マイペースプロジェクト）

教育講演 14：15～15：15 会場：F棟2階 大講義室**座長：藤原 寛（京都府立医科大学）**

「学校でアレルギー児とどう向き合うか？」

・楠 隆（滋賀県立小児保健医療センター小児科部長・保健指導部長）

シンポジウム 15：15～17：15 会場：F棟2階 大講義室**座長：井上文夫，森 孝宏（京都教育大学）**

「特別支援を要する子どものメンタルヘルス～学校保健の視点から～」

1) 「巡回教育相談でみる子どものこころ」

小谷 裕実（花園大学社会福祉学部教授）

2) 「子どものほめ方とペアレントトレーニング」

弓削マリ子（京都府中丹東保健所所長）

3) 「LD等の発達障害のある子どもの親が養護教諭に期待するもの」

古川 恵美（大阪LD親の会「おたふく会」）

4) 「特別な支援を要する子どもの社会性発達とメンタルヘルス」

相澤 雅文（京都教育大学附属特別支援教育臨床実践センター教授）

運営についてのご案内

受付時間・場所

平成24年6月23日（土）10時～12時
京都教育大学F棟ロビー

受付

名誉会員

- ・受付で府県名、氏名をお申し出いただき、名札と講演集をお受け取り下さい。

評議員

- ・受付で府県名、氏名をお申し出いただき、参加費1,000円をお支払いの上、名札と講演集をお受け取り下さい。
- ・平成24年度学会費未納の方は、年会費3,000円を学会事務局にお納め下さい。会費納入がない場合は、当日会員と同じく参加費は2,000円となりますのでご注意ください。

一般会員

- ・受付で府県名、氏名をお申し出いただき、参加費1,000円をお支払いの上、名札と講演集をお受け取り下さい。
- ・平成24年度学会費未納の方は、年会費3,000円を学会事務局にお納め下さい。会費納入がない場合は、当日会員と同じく参加費は2,000円となりますのでご注意ください。

当日会員（参加費：一般2,000円、院生1,000円、学生500円）

- ・受付で記入表を受け取り、必要事項をご記入の上、参加費をお納め下さい。名札と講演集をお受け取り下さい。

新規入会希望者

- ・受付で入会申し込み用紙を受け取り、必要事項をご記入の上、年会費3,000円をお納め下さい。名札と講演集をお受け取り下さい。

教育講演・シンポジウムの演者

- ・受付で氏名をお申し出いただき、名札と講演集をお受け取り下さい。

懇親会（会費4,000円）：参加を希望される方は受付にお申し出下さい。

- ・それぞれの受付で参加費1,000円をお支払いください。

* 名札には氏名・所属を各自で記入して、会場では必ずご着用下さい。

一般演題発表者の方へ

前演者の口演が始まると同時に、次演者席にご着席下さい。

口演時間8分、討論時間5分です。時間厳守をお願いします。

スライド発表はすべて学会場のコンピュータ（Windows）を使用します。動画などを使用する場合は をご参照下さい。

発表データはUSBメモリで準備して下さい。データの作成は の作成要項に従って下さい。

動画を使用する場合はご自身のPCをお持ちこみください。持ち込みが可能な機種はDsub-15ピンが装備されているものに限りです。

画面の解像度はXGA (1024×768) です。

発表データの作成はWindows版Power Point 2000/2003/2007でお願いします。Macの方はあらかじめWindowsに変換してきて下さい。

フォントはあらかじめOSに標準装備されたもののみをご使用下さい。

ファイル名は「演題番号(半角) + 「筆頭演者名」として下さい。

USBメモリは発表セッション開始30分前までに会場前の受付にお越し下さい。

配付資料がある場合は、発表30分前までに100部、各会場の受付に提出して下さい。

座長の先生方へ

前座長の登壇後、前方の次座長席にご着席下さい。

受け持ち時間の進行は一任しますが、1題あたり13分以内でご信仰いただきますようお願いいたします。

慣例により、後日「学会通信」用の座長のまとめをお願いします。

その他

学会開催時間内は、携帯電話などの通信機器類はマナーモードにするか電源をお切り下さい。

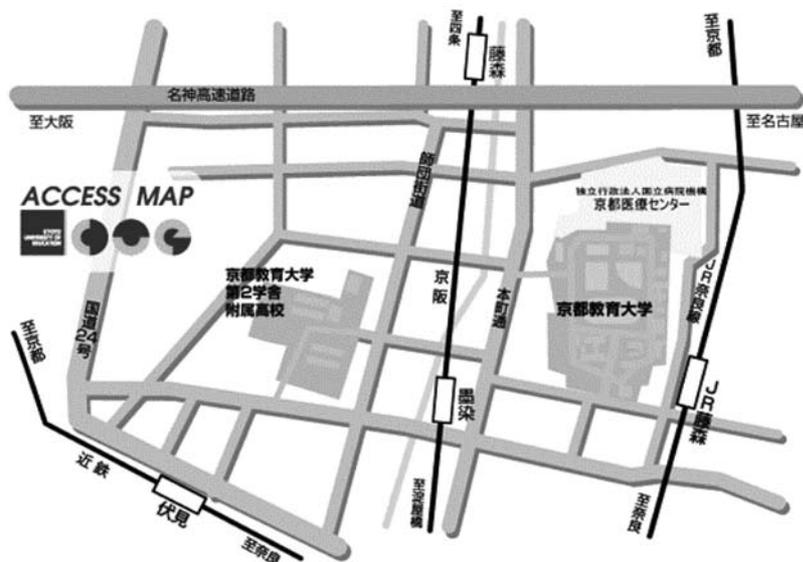
当日は禁煙のご協力をお願いします。

手荷物の預かりサービスは行いませんので、ご了承下さい。

懇親会は大悪生協食堂にて17時30分から行います。当日申し込みも歓迎します。多数の方のご参加をお待ちしています。

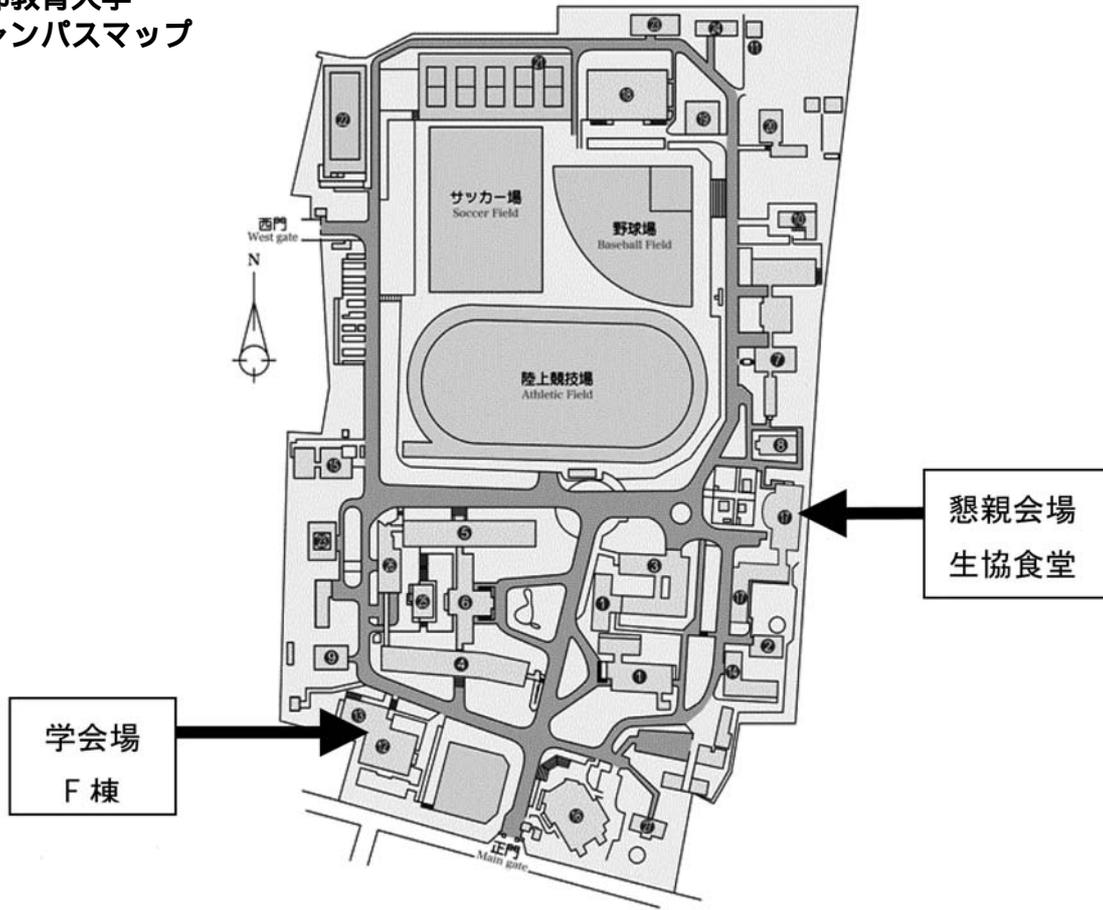
駐車場はありません。公共の交通機関をご利用下さい。

交通案内図

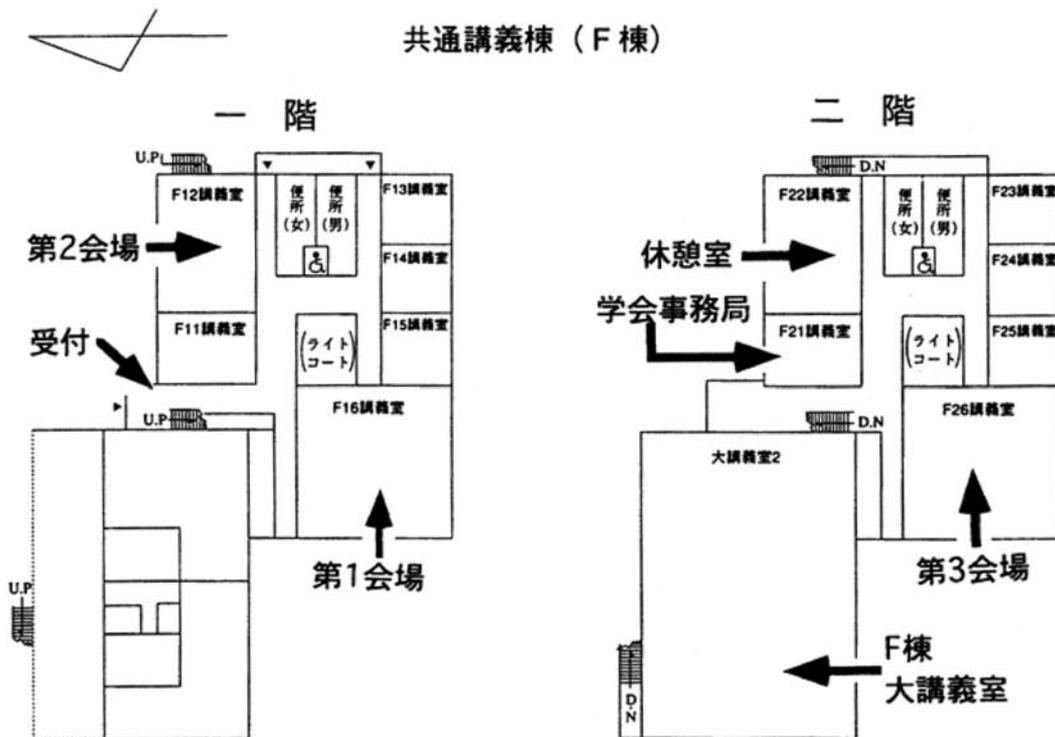


JR奈良線 JR藤森駅より徒歩3分
京阪線 墨染駅より徒歩

京都教育大学 キャンパスマップ



会場案内図



新企画 「学校保健分野における研究の進め方：ここが聞いてみたかったところ」

今回から、「学校保健分野における研究の進め方：ここが聞いてみたかったところ」を連載することとなりました。研究は多岐にわたり、それを進めるには様々な配慮が求められますから、力不足も否めないのですが、自分の経験から率直に述べたいと思います。不備があったとしても、後のご担当がカバーして下さることでしょう。この連載が、皆さんの近畿学校保健学会での研究発表や論文作成の一助になれば幸いです。

第1回 研究計画を立てる

兵庫教育大学大学院 西岡伸紀

1) 「研究」はなぜ必要？

最初から大きく出てしまいました。しかし大事なことだと思いますので。「研究」には、敷居が高く簡単には取り組めない印象があるかもしれません。正直、私も学会発表の抄録作成には苦労します。しかし、学校保健には解決すべき多様な課題が身近にもあり、大小様々な研究が多くの人たちによって行われていますので、ある意味気軽にそれらを発表されてもよいのではないかと考えます。学校保健の課題は、他領域のアイデアが参考になる場合もありますが、最もよく解決できるのは、その課題に関わる人たちです。また、我々が、知恵を合わせ意見を交換することにより、課題がよりよく解決でき、さらには解決の方策が共有され、課題解決が広がっていくと考えます。それに、研究について相談できる人は案外身近にいるもので、そのような人たちに相談することも可能です。

ただ、意見を交換するためには、わかりやすさや明確さが欠かせません。研究は、合理的で慎重なものだと思います。素晴らしい成果が出ることは申し分ありませんが、行ったことがどこまで適応できるのか、限界を示す謙虚さも必要です。課題の解決は、城の石垣を積むようなもので、一つ一つの研究が積み上げられることが大きな解決につながります。そのためにも、自分の研究が、築かれてきた石垣にどのように積み上げられるのか示したいものです。それにより、過去の研究がどのように活かされ、後に続く人に何が期待されるのかわかります。よい研究成果を得るために努力することは必要ですが、研究では、得られた事実に基づき、力むことなく発表すればよいのではと考えます。得られたことについて最もよく知っているのはその研究の当事者であり、その点は自信を持って発表してください。

2) 課題の設定、明確化

先に述べたように、読者の皆さん全員が、学校保健上の課題をいくつも認識されていることと思います。筆者の勤務する大学院には現職者が多いのですが、その人たちの意識する課題は様々です。例えば、「インフルエンザが流行する時に手洗い指導をするが、子どもたちは手洗いをそれほどしない。それに手洗いは本来家庭で指導すべきではないか」「健康観察が一層重要になってきたが、健康観察はどのように行われているのか。一般教員はどのようにとらえているのか。」「中学校保健学習の小単位には、指導のしやすいものとしにくいものがあるようだ。指導の難易があるのだろうか。それは何に

よって決まるのか」「ライフスキル教育を推進してきたが、異動してきた教員には理解や参加が難しい。どうすべきか。また、ライフスキル教育とは何か簡単に説明できるようにしたい。」などです。

このように意識された課題を、研究を通して確かに解決したいものです。ただ、以上の課題はそのまま研究課題になるわけではありません。というのは、意識された課題は、感覚的であったり、課題が整理されていなかったり、解決が不可能であったりする場合があるためです。研究課題には、以下のような条件があるためです。まず、課題が明確で具体的であることです。意識された課題では、漠然としていたり、複数の課題が含まれていたりします。上記の「手洗い」の場合、最終的には、子どもの手洗いの実態、それらと保護者の手洗い指導や手洗い状況との関連を研究課題としました。次に、検証可能であることで、そのための資料やデータ収集が可能であることです。また、既に検証されている課題には、取り組む必要はありません。検証した研究に「残された課題」が示されていますが、それ自体やそれを発展させた課題に取り組むべきでしょう。

3) 関連する資料の収集

次に、課題に関連する資料を集める必要があります。それは、まず、課題に対してより理解するためです。また、ほとんどの研究課題は、過去に誰かが研究しています。先人の成果を生かして研究しましょう。それにより質の高い研究になりますし、その課題に関わる研究が前進することになります。

資料の集め方については、図書や論文のデータベースの利用が有用です。私がよく使うのは、CiNii、医学中央雑誌、Google Scholarです。いずれも、インターネットにこれらを入力すると画面が出てきます。医学中央雑誌は原則有料ですが、デモ版は無料です。画面に、研究課題に関するキーワードを入れると該当する論文などが出てきます。最近では、論文のPDF化が進んでおり、無料で論文本体を入手できることも多くなりました。なお、画面に表示された論文等には、自分の課題と無関係なものもあります。そのため、論文の要約を読むなどして、関係する論文等を選んでください。

また、得られた論文や書籍にある参考文献も利用して下さい。資料がやや古くなるかもしれませんが、研究課題に直に関わる資料が得られます。

4) 収集した資料の分析、整理

資料は、書いてあることを把握したり分析したりする必要があります。分析の仕方はその人の目的によりませんが、論文の場合、まずは、その研究が、どのような目的で、何を対象や材料として、どのような結果が得られ、それをどう解釈したりどのような課題が残されたりしているのか、がわかればよいと考えます。もちろん、他にもあり、例えば、序論において研究課題に関わる背景や経緯を理解したり、研究方法を見て自分の研究方法を改善したり、結果の数値などをじっくり把握したり、考察の仕方や内容を理解したりなど様々利用できます。

これらの分析結果は、論文のタイトル、発表者、雑誌名、巻号、ページ番号などとともに、ノートに書き留めたり、パソコンに入力しておいたりします。後で見直したり、研究をまとめる際に不可欠です。

5) 研究計画の作成

研究には段取りがあり、一般的に時間を要します。自分の研究課題の検証に向けて、大きな回り道をすることなく進めたいものです。したがって、研究計画の立案が不可欠になります。研究計画は、一般的に、ある期日（研究発表、学会発表、論文投稿期限など）に最終ゴールが示されており、それに至るまでに取り組むべき内容と時間経過を示したものです。幸い研究経費がある場合には、その予算配分、複数の人たちと共同研究する場合には、それぞれが果たす役割も示します。複数人数の場合、研究計画に関する共通理解が極めて重要です。

研究計画は、最終ゴールを達成するための途中の小目標を具体的に示すこと、それらを適切な時間経過に位置付けることが大切と考えます。研究は一気に片づくものではありません。例えば質問紙調査を行うにしても、質問紙作成に関する資料収集・分析、質問紙の検討と作成、調査の依頼、調査の実施、データの収集と分析、分析結果のまとめ、それらの報告書の作成など、様々の小目標が、順番に、あるいは並行して設けられます。このような小目標は、それらが達成されたか、個人や関係者で確認するための節目になります。研究計画は、多くの場合、予定より遅れてしまいます。予期せぬトラブル、調査依頼先の事情などあるためです。計画にはゆとりを持たせてください。

6) 倫理的配慮

最近の研究では、倫理的配慮が不可欠となっています。場合によっては、大学や学会の倫理審査委員会において倫理的配慮の適切性が検討されます。必要な配慮については、研究課題や、所属する機関や学会などによって変わります。例えば、私の場合、特に問題がない質問紙調査の場合には、調査対象校の教職員に調査項目を検討していただいたり、調査用紙の表紙に、回答拒否ができること、拒否による損失は無いことなどを明示したりすること、かつ調査実施者がそれらを説明すること、回収のための密封用封筒を用いることなど行いますが、大学の倫理審査委員会を経る必要はありません。しかし、採血、ケースの検討など行う場合は不可欠です。身近にいる管理職や大学教員などに相談してください。

名誉会員 上林久雄先生のご逝去を悼む

大阪教育大学 白石 龍生

本学会の名誉会員上林久雄先生は、去る3月7日早朝享年86歳にて永眠されました。会員一同を代表して謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

上林久雄先生は、大正14年8月28日に京都府でお生まれになり、昭和18年3月京都府立京都第一中学校を卒業後、昭和19年2月に陸軍經理学校へ入学し、昭和20年9月に終戦により復員されました。その後、昭和21年4月に大阪医科大学予科に入学され、昭和24年3月に修了後、引き続き同大学医学部へ入学し、昭和28年3月に卒業されました。卒業後、大津赤十字病院において医学実地研修を開始し、昭和29年3月に修了されました。その後、昭和29年5月に医師国家試験に合格され、医師免許証を下付されました。

昭和29年11月1日大阪学芸大学助手に採用され、以後、講師、助教授に昇任、学名変更により大阪教育大学助教授となり、昭和44年4月1日に大阪教育大学教授に昇任されました。平成2年2月15日に勇退され、翌日付けで大阪教育大学名誉教授の称号を受けられました。その後、平成2年4月から平成9年3月までの間、大阪成蹊女子短期大学の教授として、引き続き教育研究の任に当たられました。

この間、細菌学免疫学を中心とした基礎医学の研究を推進するとともに、基礎医学の研究手法を保健学の分野に応用されました。昭和33年6月に京都大学から医学博士の学位を授与された論文「ジフテリア毒素の生体に及ぼす影響」をはじめとした細菌学免疫学に関する論文は、日本細菌学雑誌等に掲載され、高い評価を受けました。基礎医学で培った研究手法と医師としての専門性を生かし、運動生理及び保健管理に関する研究を推進し、数多くの学術論文を発表されました。内科医としての識見と人間的魅力を兼ね備えた先生は、学部学生や大学院生への教育にも熱意と誠意をもって当たり、東南アジアからの留学生の指導にも尽力されました。先生の行き届いた指導を直接受け、卒業論文、修士論文を作成した学生は、100名以上にのぼります。卒業、修了生の多くは、現在、学校教育の現場や研究機関等で幅広く活躍しています。

近畿学校保健学会には設立当初から参画され、児童、生徒及び学生の健康の保持増進に関する数多くの研究結果を報告し、昭和47年には第19回の年次学会長を務め、昭和56年には同学会の初代幹事長に就任されました。この幹事長制度は現在まで受け継がれ、今日の近畿学校保健学会の基礎を築かれたと言って過言ではありません。以上のように、先生の功績には枚挙にいとまがありません。こうした教育、研究上の顕著なご功績に対して、平成17年11月には瑞宝中綬章が授与されました。

「白石君」と私を呼んで下さることはかないませんが、上林久雄先生のお教えを守りつつ、近畿学校保健学会のよりいっそうの発展に尽力することで、先生の遺された高い志を受け継いでいきたいと存じます。

平成23年度第3回近畿学校保健学会 幹事会議事録

日時：平成24年2月12日（日曜日）

14：00～15：30

場所：大阪市立大学（杉本町キャンパス）

学術情報総合センター1階 文化交流室1

出席：（幹事長）宮下

（常任幹事）白石，森岡

（幹事）中川，井上，八木，大川，後和，
松嶋，宮井，森川，吉岡，川畑，永井，
笠次，高橋，辻井，武田

（事務局長）藤原（幹事長補佐）福元

（計20名，敬称略・順不同）

議事

1．前回議事録の確認について

全員により了承された。

2．第59回近畿学校保健学会年次学会開催要項について

井上学会長より概要説明がなされた。平成24年6月23日（土曜）に京都教育大学にて開催する。学会賞も引き続き設定する。主要行事は，音楽とトーク30分，教育講演1時間，シンポジウム2時間を予定しているとのことであった。

3．学会通信の発行について

白石常任幹事より説明がなされた。学会通信とHPの住み分けを一層進めることとなった。若干の訂正を加えたうえで，刊行が承認された。

4．役員選挙について

武田選挙管理委員長より説明がなされた。前回の幹事会で欠席だった滋賀の選挙委員が報告された。評議員繰り上げ当選と無効票について説明があった。なお，幹事選挙は，2月18 - 27日に投票，3月2日開票予定である。

5．学会の活性化について

- ・森岡常任幹事により，前回決定された「学会通信」の新企画として研究の進め方（仮題）の説明がなされた。目的と6回分の予定内容が紹介された。一部「日本学校保健研究」と重複するため，内容を慎重に検証することとなった。また，例えば内容につい

て質問を受け付けるなど，双方向のやり取りを目指すべきという意見が述べられた。

- ・川畑幹事より，講習会などを実施した場合の不採算性を危惧する意見が出されたが，基本的に講師はボランティアで行うため，極端な不採算は想定していないこと，また（1）聴講生を正会員に制限する案，（2）非会員より聴講料を徴収する案，（3）聴講希望者を会場で正会員に入会して貰う案などが出された。

- ・大川幹事より「養護教諭の期待する免許更新講習」（別紙）の概要について説明があった。これを参考にセミナー等を開催する方向で検討することが確認された。

6．名誉会員の推薦について

井上幹事より3氏の履歴と推薦理由の説明がなされた。3氏ともに全会一致で名誉会員に推挙された。

7．第60回近畿学校保健学会年次学会開催要項について

鬼頭英明教授（兵庫教育大学）を学会長に，神戸大学会場で開催されることが報告された。

8．第59回日本学校保健学会（神戸）のシンポ「震災と学校保健」について

宮下幹事長より，このシンポは近畿学校保健学会としてではなく，日本学校保健学会学術委員会企画として開催し，近畿の学会員として支援していく方針が表明された。

9．平成24年度第1回新旧合同幹事会開催について

5月20日（日曜）京都教育大において，平成24年度第1回幹事会として開催予定である。

10．その他

- ・役員選出規定第2条5（評議員選出）において，端数切り捨てとある部分を他学会の例に倣って端数切り上げ扱いにする案が出された。これに対し，地区の最少人数を3人に増員する案が出された。次回の新旧合同幹事会で検討することとなった。
- ・評議員に，例えば医師会，教委などから外部の役員を推挙する案が出された。この件に関しては，第2条6（評議員の選出）をそのまま準用すればよいという意見が出された。

第59回日本学校保健学会開催のご案内（第1報）

年次学会長 川畑徹朗（神戸大学）

1. **メインテーマ：「全ての子どもの積極的健康，全人的発達を促進する学校保健
～ライフスキル教育の可能性を追究する～」**
2. **開催期日：平成24年11月9日（金）～11日（日）**
3. **学会会場：神戸国際会議場**
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1 ホームページ：<http://kobe-cc.jp/>
4. **主 催：日本学校保健学会**
5. **共 催：JKYBライフスキル教育研究会，JKYBライフスキル教育研究会各支部**
6. **後 援：文部科学省，(財)日本学校保健会，近畿学校保健学会，兵庫県教育委員会，
(予定) 神戸市教育委員会，神戸大学，神戸大学大学院人間発達環境学研究科ほか**
7. **学会の概要（予定）**
 - 【学会長講演】(11月10日)
「しなやかに生きる心の能力を育てるライフスキル教育」
川畑徹朗（神戸大学大学院教授）
 - 【特別講演】(11月10日)
「困難に立ち向かう心をはぐくむ -ポジティブ心理学から-」
島井哲志（日本赤十字豊田看護大学教授）
「学校における喫煙，飲酒，薬物乱用防止教育の進め方」
北垣邦彦（文部科学省健康教育調査官）
「学校での医薬品に関する教育の進め方」
鬼頭英明（兵庫教育大学大学院教授）
「Using the Health Promoting Schools Model to Reduce Student Bullying Behaviour」
Donna Cross（西オーストラリア州Edith Cowan大学教授）
 - 【教育講演】(11月10日)
「小学校におけるライフスキル教育」池田真理子（福山市立野々浜小学校校長）
「中学校におけるライフスキル教育」工藤ひとし（新発田市立本丸中学校校長）
 - 【ワークショップ】(11月10，11日)
「性教育」(JKYBライフスキル教育研究会/JKYBライフスキル教育研究会関東支部共同企画)
「歯と口の健康教育」(JKYBライフスキル教育研究会東海支部企画)
「食教育」(JKYBライフスキル教育研究会近畿支部企画)
「ライフスキル教育」(JKYBライフスキル教育研究会中国・四国支部企画)
 - 【シンポジウム】(11月11日)
「震災と学校保健」(学術委員会企画)
「青少年の性にかかわる危険行動防止のためのライフスキル教育」
(神戸大学国際交流事業・神戸大学国際学術WEEKS企画)
 - 【日本学校保健会研修会】(11月11日)
「メディアリテラシーと子どもの健康」(財団法人日本学校保健会企画)

8. 事前参加申込および学会参加費**1) 事前参加申込（第1次：7月31日，第2次：8月31日）**

・原則として，年次学会ホームページからの受付となります。

2) 学会参加費**【7月31日までの早期申込】**

事前に講演集送付をご希望の方は送料500円を加えて申し込んでください。

一般（会員，非会員） 8,000円（講演集代込）

学生（学部生，大学院生） 4,000円（講演集代込）

【8月31日までの早期申込】

事前に講演集送付をご希望の方は送料500円を加えて申し込んでください。

一般（会員，非会員） 9,000円（講演集代込）

学生（学部生，大学院生） 5,000円（講演集代込）

【9月1日以降の申込】

一般（会員，非会員） 10,000円（講演集代込）

学生（学部生，大学院生） 6,000円（講演集代込）

3) 懇親会費

一般（会員，非会員） 6,000円

学生（学部生，大学院生） 5,000円

【学会参加費および懇親会費の振込先】

（郵便振替）

加入者名：第59回日本学校保健学会 口座記号番号：00910-3-322674

* 振り込み用紙の通信欄に必ず振込金額の内訳をお書きください。

9. 年次学会運営事務局

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1

神戸国際交流会館6階 日本コンベンションサービス（株）内 榊原 理恵

第59回日本学校保健学会 運営事務局

E-mail：jash59@convention.co.jp

TEL：078-303-1101 FAX：078-303-3760

（お問い合わせはできるだけEメールでお願いします）

編集後記

学会活動の活性化を図るということで，誌上講座の開設および研修会が行われます。本号には，6回にわたる誌上講座の記念すべき第1回目が掲載されています。執筆いただいた兵庫教育大学大学院の西岡伸紀教授に会員を代表して，お礼申し上げます。次回の執筆者は未定ですが，この試みによって会員相互の交流が深まることを期待しております。

さていよいよ第59回近畿学校保健学会が近付いてまいりました。本号には詳細なプログラムが掲載されています。井上学会長ならびに藤原事務局長をはじめ京都教育大学の関係者の皆様，どうぞよろしく申し上げます。

学会発表される会員の皆様は，発表の準備でさぞお忙しいことと存じます。6月23日に京都教育大学でお会いしましょう。

（白石 龍生）